

<対策のポイント>

米の1人当たり消費量の減少傾向に歯止めをかけるため、米粉の需要拡大に向けた取組を支援するとともに、中高年層をターゲットとして、米の機能性など「米と健康」に着目した調査・広報、米の付加価値向上・流通合理化のモデルの創出等、新たな米の需要創造につながる取組を支援します。

<事業目標>

米の需要拡大（消費量51kg/年・人 [R12年度]）

<事業の内容>

「食料・農業・農村基本計画」に基づき、米の機能性など「米と健康」に着目した情報発信、米の付加価値を高める情報項目の整理することにより、米の国際競争力の強化や高付加価値化を推進する等、米の1人当たり消費量の減少傾向に歯止めをかける取組を支援します。

1. 米需要創造推進事業

米の一人当たり消費量の減少率の大きい、中高年層をターゲットとした、新たな米の需要創造のため、米の機能性など米と健康に着目した調査・広報を支援。

2. 稲作農業の体質強化総合対策事業のうち米の付加価値向上・流通合理化支援

多様な消費者・実需者ニーズに適應するため、スマート・オコメ・チェーンを活用した米の付加価値向上・流通合理化モデル創出に向けた取組等を支援します。

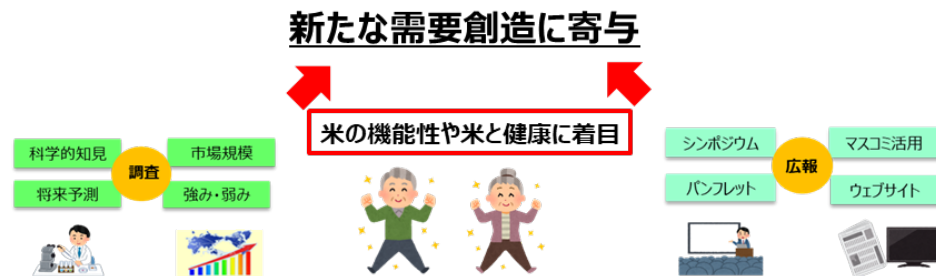
<事業の流れ>



<事業イメージ>

米と健康に着目した調査・広報支援

米の機能性など米と健康に着目した調査等、新たな米の需要創造につながる調査・広報を支援



米の付加価値向上・流通合理化支援

米の付加価値向上・流通合理化モデルの創出



食味の情報や穀粒判別器等から得られる情報を活用した米の付加価値向上、流通合理化のモデル実証や調査等